

都市空間の環境改善

遮熱性舗装ブロック「遮熱ILB」

はじめに

都市空間の中で、道路は大きな面積を占めている。

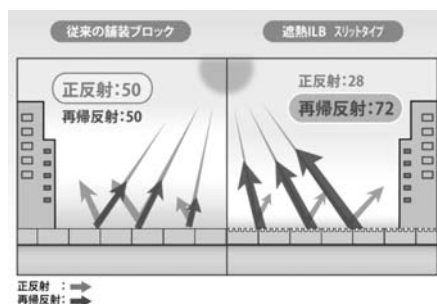
道路の路面温度低減化は、近年顕在化している都市部のヒートアイランド現象緩和対策となる。

当社では、環境負荷低減に貢献する高機能な舗装ブロック「遮熱ILB」の製品開発と市場展開を行っており、ここに紹介する。

高い温度低減効果

「遮熱ILB」は、赤外線を反射して舗装の表面温度をアスファルトに比べ約15℃低減できる高い遮熱性能を持っており、色調の異なる「普通品」のほか、高級感のある「タマパームタイプ」、再帰反射機能のある「スリットタイプ」、自然石の光沢がある「研磨タイプ」、柔らかな表情の「ショットブラスト仕上げ」等があり、さまざまな表面テクスチャーや落ち着いた色彩を揃えた豊富なバリエーションを有している。

都市部でのヒートアイランド現象の低減や景観性の改善などに寄与しており、青海・台場クロスウォークや国会議事堂周辺といったラン



ドマークで採用されている。

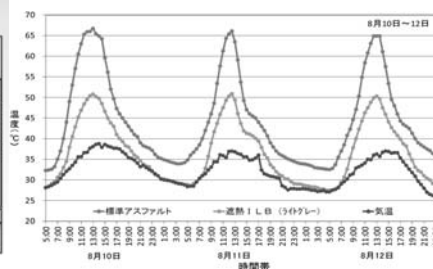
再帰反射で照り返しを遮る

特に、再帰反射に考慮した製品として、オーシャンスリットタイプやアートスルータイプがある。

太陽光の反射には、太陽から照射された角度と逆方向の同じ角度にはね返る正反射と、入射した光が再び入射方向へ帰る再帰反射がある。当社で測定したところ、オーシャンスリットタイプやアートスルータイプなど表層にスリット形状を施したタイプは正反射率が小さく、物を暖める効果が高い赤外線部分の75%を再帰反射する。

これは、表面のスリットの作用とされ、再帰反射すれば赤外線は太陽光に戻るため、周辺のビルへの照り返しや温暖化の影響が少なくなる。

太平洋プレコン工業(株)



永田町国会議事堂周辺 遮熱ILB

おわりに

東京都では、「世界一安心・安全な都市」として災害対応への強化を図るとともに、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて環境に配慮した街づくりを目指す方針を打ち出している。当社では、真夏に開催されるオリンピック・パラリンピック向け、東京都の都市ごみ焼却灰を原料とした「エコセメント」を使用した遮熱ILBなどの販売を強化し、安全・快適な街づくりに貢献して行く考えだ。